

亀山通信

第62号

2023年3月発行

発行者 浜田高校通信制課程 住所 浜田市黒川町 3749
TEL 0855-22-0187 FAX 0855-22-2549



卒業
おめでとう!



令和5年3月2日（木）、島根県立浜田高等学校第74回卒業証書授与式が行われました。令和4年度は通信制から、前期3名、後期38名、計41名の卒業生が巣立って行きました。

今年度はようやく新型コロナウイルスの感染が収まってきたため、3年ぶりに来賓や在校生が出席した卒業式となりました。全日制の合唱隊や吹奏楽部が演奏するお祝いの歌や校歌を聴きながら、温かく、厳粛な式典が執り行われました。送辞、答辞にはコロナ禍だからこそ感じたことやいろいろな思いが込められていて、多くの人が目頭を熱くしたのではないかと思います。本当にすばらしい式典でした。あらためて41名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！ 自学自習が基本の通信制で学習することは決して易しいことではなかったと思います。また、学業と仕事を両立させて頑張った人もたくさんいます。みなさんの頑張りを見てきた私たち教職員も、この日を迎えることができたことをとてもうれしく思います。通信制で過ごした日々を糧に人生を切り拓いていってください。

スクーリング日連絡先

【本S・火S】浜田高校定時制通信制校舎
(0855) 22-0187

【協S・巡S】

大田（携帯）：080-2896-2457

益田（携帯）：080-2896-2458

※ 協力校の電話は、協力校スクーリング当日
8：30～15：00 までの間つながります。
それ以外は、浜田高校定時制・通信制校舎へ電話してください。

※ Sはスクーリングのことです。

第62号の主な内容

- ◎ 卒業式校長式辞…………… P 1～2
- ◎ 卒業生代表答辞…………… P 3～4
- ◎ 副校長より…………… P 5
- ◎ 卒業生授賞式…………… P 6
- ◎ 生徒総会・新生徒会役員紹介…………… P 7
- ◎ 特別活動報告…………… P 8～10
- ◎ 進路部だより…………… P 11～12
- ◎ 保健だより…………… P 13
- ◎ 奨学金の案内…………… P 14
- ◎ お知らせ…………… P 15



式 辞



校舎から望む山なみが、少しずつ青葉の色彩をみせ始め、ほのかな春の訪れを感じる季節となりました。

本日ここに、全日制PTA会長 中山良一様、定時制・通信制PTA会長 竹野内貞明様をはじめ、多数のご来賓の方々のご臨席を得て、第74回卒業証書授与式を執り行うことができますことを、心よりお礼申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、お子様がりりしく立派に成長され、高等学校を卒業される姿を、頼もしくご覧になっていることと存じます。お子様のご卒業を、心よりお祝い申し上げます。在学中は、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

さて、ただ今卒業証書を授与いたしました229名の皆さん、卒業おめでとうございます。浜田高校で過ごした年月は、各課程あるいは個人によって様々ですが、一人一人にとってかけがえのない、思い出深いものであったことと思います。

定時制・通信制課程の皆さんは、現在の校舎が新設されてから丸10年目となる、節目の卒業生となります。定時制課程を卒業される15名の皆さんは、仕事を通じて様々な経験を積んだり、社会の厳しさに直面したりしながら、向学心を持ち続け頑張ってきました。

通信制課程を卒業される38名の皆さんは、自らの力で学ぶという通信制の学びを理解し、本校や大田、益田のスクーリング、レポート提出など、ハードルを一つ一つ自らの力で乗り越えながらよく努力され、卒業に必要な単位を修得されました。

両課程とも、仕事や家業と学業の両立という容易ではない努力を続け、様々な困難を乗り越えて本日を迎えられたことに、心からの敬意を表したいと思います。

全日制を卒業される176名の皆さんは、「高い理想と誠実な努力」という教育目標のもと、勉強と部活動の両立、進路目標の実現に向かって、真摯に努力を続けてくれました。とくに部活動では、校史に燦然と輝くほどの素晴らしい活躍を随所で見せてくれました。困難な状況下でも自己を磨き、創意工夫して成果を上げられた経験は、今後の人生に必ずや生きてくることと確信します。全課程の卒業生の、これからの益々の活躍を期待しています。

さて、卒業する皆さんに、次のことをお伝えしたいと思います。

人の生涯には、「研鑽の時」「実現の時」「奉仕の時」の三つの区切りがあるといわれています。むろん、それぞれの時期は、単純に直線的につながっているのではなく、むしろ重複しながら重層的につながっていると言っているのかもしれませんが、少なくとも高校時代までは、教養を蓄え、自分を鍛えるために研鑽を積むことが、主なテーマでありました。

高校を卒業し、新しい人生のステージに立つこれからは、一人の大人として、自立した社会人として、「自己実現」を果たし「社会奉仕」を行うことが、大きなテーマとなります。すなわち、生涯にわたって意欲をもって取り組める仕事を選んで、自分の能力を最大限に生かしながら、社会に役立っていくことが求められます。

社会の役に立つとは、自分のしていることが、誰かに必要とされていること、あるいは他の人にとっても意味があるということが意識できるということです。

皆さんは、3年前にアフガニスタンで銃撃され亡くなられた、中村哲さんという医師を覚えていますでしょうか。昨年末にテレビで追悼番組を見られた方もおられると思います。中村医師は、戦禍で荒れ果てたアフガニスタンの復興に長年にわたって尽力された方でした。日本から遠く離れた中央アジアの国に、その生涯を捧げた中村医師が大切にしていたのが、「一隅を照らす」という言葉でした。

「一隅」とは「一つの隅」と書きます。もともとは天台宗の開祖最澄の言葉で、「どんな場所においても、その場所で精一杯尽くすことが、周りの人を幸せにするのだ」という意味です。私は、この言葉を思うたび、自己実現と社会奉仕とは、「一隅を照らす」ことに他ならない、と考えるのです。

ここにいる皆さんの進路は、就職、進学、あるいは県内、県外さまざまです。中村医師は、医師という職業に、海外の地に、「一隅を照らす」役割を見出したわけですが、皆さんも、どのような仕事、場所であっても、たとえ大きな光でなくてもいい、周りを照らす存在となって活躍してくれることを願っています。ちなみに、最澄の言葉は、次のように続きます。「一隅を照らす、此れ即ち国宝なり」。一隅を照らすことができる人こそが、国の宝なのだ、と。

さあ、いよいよ旅立ちの時です。この地で青春時代を過ごし、たくさんの体験をして、かけがえのない思い出をつくったあなたたちは、すでに地域の宝です。どうか皆さん、これまであなたを愛情深く包み込み、育ててくれた浜田の地を、感謝の気持ちとともに、皆さんの古里としていつまでも心にとどめておいてください。古里浜田で学び、大空高く飛翔していく229名の、洋々たる前途に幸多かれと祈念いたしまして、式辞といたします。

令和5年3月2日

島根県立浜田高等学校長 志波英樹



答 辞

私が浜田高校通信制に入学したのは、5年前の春でした。入学当初、私は小中と不登校だったことにコンプレックスを感じ、今までの遅れを取り戻さなければとの焦りから3年間での高校卒業や、成績優秀を目指し、アルバイトや家事の両立を完璧にこなす生活を自分に課していました。しかし今まで頑張りすぎていた疲れも限界に達し、その後訪れた新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけにして、心身ともに体調を崩し、休学を決めました。

働かず学業もおろそかにする自分に後ろめたさを感じ、将来の目標も定まらないまま空白の時間を過ごしている感覚でした。3年での卒業を当たり前としていたにも関わらずいつ復学するかも分からない漠然とした不安や焦燥に駆られ、とても苦しい日々を過ごしたのを記憶しています。しかし、同時にその時間は自分自身ととことん向き合うことのできる期間でもありました。まず第一に気づいた事があります。それは、どんなに周りと比べて焦っても体調を崩しては元もこもない。何より日々を元気に過ごせることが幸せで、丈夫な心と体があってこそその人生なのだということとです。

休学以前の私は、社会的な体裁といった当たり前を基準に物事を考えていました。良い学校に進学し、安定してやりがいの持てる仕事につくことが人生の成功で誰もが望む幸せだと思い込んでいました。しかし、コロナ禍が私たちに教えてくれたように当たり前は必ずしも当たり前ではなかったのです。社会的な基準は単なる一つの価値観であって、それが全てではないということ、また健康な体で過ごせているだけでとてもありがたく幸せなのだという事実に変更が気付かされました。

その気づきを得てから、日々を健やかに送るためには食が何よりもの基本であると痛感しました。そして、元々料理で人をもてなす事が好きだった事もあり、自身の経験を活かせる栄養士になって人の役に立てる仕事につきたいとの夢が生まれました。

休学開始から一年を経て、再び通信制での単位取得の日々が始まりましたが、以前のように焦って履修科目を増やしたり早く卒業を目指したりはしませんでした。将来に対する夢を持ち、人生において本当に大切にすべきものとは何かという学びを得ていた私は、社会的な基準ではなく、自分のペースで人生のコマをすすめてゆくことへの余裕を持っていたからです。

その夢の実現のため、この春私は栄養の専門学校への進学が決まっています。通信制で過ごした5年間は、側から見ると長くスローペースなものだったかもしれませんが、私にとっては

将来への基盤を築くための有意義な時間だったと胸を張って言えます。ゆっくりとマイペースに学業や仕事を両立できる通信制に入学して本当によかったです。ここで得た学びやお世話になった先生方への感謝の気持ちを携えて、これから一步一步着実に進んでいきます。

最後に本日は素晴らしい卒業式を本当にありがとうございました。

令和5年3月2日



通信制課程 卒業生代表 瀬丸 侑奈



副校長より



～ 卒業おめでとう ～

副校長 池永和江

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。今年度通信制は前期で3名、後期で38名が卒業しました。全日制や定時制と違い、卒業生の年齢も様々で、通信制に在籍した年数も異なり、特に益田や大田の協力校に通っていた皆さんにとって浜田高校卒と言われても実感に乏しいかもしれません。今年度この通信制課程は定時制昼間部と共に設立十周年を迎えました。昨年11月に定通合同で祝う会を実施しました。平成24年に島根県西部の拠点校となる学校をということで、この定時制通信制校舎が建てられ開設式を迎えました。以来年々生徒数は増加し、現在2月時点での通信の在籍生は248名です。島根県西部の四市五町から様々な事情を抱えた生徒たちが、新入学、転入学、編入学と様々な形で集まったのがこの通信制課程です。短い人は一年で、長い人は何年もかけてここを卒業していきます。一口に卒業と言っても、想いはそれぞれ異なるでしょう。しかし、ここにこんな学校があってよかった、助かったと思ってもらえると幸いです。

今年卒業を迎えた皆さんはどんな想いで卒業式に臨んだのでしょうか。コロナ禍という、全ての社会活動に何らかの制限が加わった日々がようやく終わりを迎えます。巣ごもり生活、不要不急の外出は避けるといった言葉も遠ざかりつつあります。皆さんの中にももしかしたら、コロナ禍がなければ、もっと学生生活を楽しめた、部活動頑張っただけで前籍校でやれたのになという人もいるかもしれません。全日制の卒業生代表の生徒が読んだ答辞には、入学直後に休校となり、コロナ禍と共に学校生活を送らざるをえなかった思いが述べられていました。浜田高校の卒業式を初めて体験しましたが、全定通と三人の課程代表がそれぞれ答辞を読みました。それぞれの思いが詰まっていてどれも感動的でした。通信制の答辞は生活体験発表でも代表を務めてくれた瀬丸さんが読んでくれました。ハンカチを持って行ってよかったなど思うよい答辞でした。

また、卒業式後全日制の教頭先生から、「2年の9月に全日から通信に転籍した生徒が、かつてのクラスメイトと並んで退場し卒業していく姿を見て、全日制の旧担任が感激の涙を流していました。」との話を聞きました。そしてこの生徒は卒業式後、全日制の3年職員室へ行き、挨拶をしてくれたそうです。その話を聞き、本当に色々なことを乗り越えたのだなと心からこの生徒の卒業を嬉しく思いました。今年、通信制の生徒の卒業式への出席者は27名でした。いつもの年より多くの生徒が卒業式に出席してくれました。通信制は基本的に自学自習です。私たち教員ができる支援は限られています。自分で頑張っただけで、色々なことを乗り越えていかないと前には進めません。だからこそ、卒業までたどりついてくれたことを心から祝福したいと思います。

これから3月の終わりと4月の始めに通信制の入試があり、また大勢の生徒が入学してきます。新年度がスタートします。「あせらず、休まず、あきらめず」皆さんが卒業に向けて、少しずつでもいいので前進してくれることを願っています。

卒業生授賞式



令和5年3月1日（水）、卒業生授賞式を行いました。当日は授賞式に参加した17名に向けて、校長先生から高校生活での頑張りを称えと共に今後の活躍への期待を込めた激励の言葉を頂きました。今回もコロナ感染防止の観点から、校内関係者だけで行いました。

また、太田・吉田奨学会並びに通信制生徒会から卒業生記念品も贈呈されました。

受賞した生徒は、以下の通りです。

賞名称		受賞者
全国高等学校 定通教育振興会	修学優秀者賞	木下はるな 瀬丸 侑奈
全国高等学校 通信制教育研究会	会長賞	白根 萌々 三瓶 玉美
島根県高等学校 定時制通信制生徒生活体験発表大会	第2位	瀬丸 侑奈
島根県高等学校 定通教育振興会	優秀者賞	岩上 純平 野村 稜翼
亀山賞	検定合格の部	西村菜々美
	継続就労と 学業両立の部	大田 倭 大屋 歩夢 栗栖 直毅 田中 美優 津野 宏真 日田 南美 藤野 紗智
	スポーツ・文化・ 芸術の部	木下はるな 久保 優 瀬丸 侑奈



授賞式の様子



校長激励の言葉



賞状・記念品の授与



生徒会卒業記念品贈呈

**第2回 生徒総会
在校生授賞式**

2月21日(火) 11:00~11:50

今年度の生徒会活動を締めくくる第2回生徒総会が開かれました。また、令和5年度の新役員の承認も行われました。1月の課程代表選挙により、新課程代表として石田巧人さんが信任されましたが、石田さんを含めて8名の新役員が誕生しました。新役員のみなさんは、下の一覧の通りです。1年間よろしく願います。そして、前課程代表の西田優真さんをはじめ、旧役員のみなさん、1年間お疲れさまでした。

生徒総会の後は、亀山賞の在校生授賞式が行われ、継続就労と学業両立の部で本田楓さん、山根杏愛さん、スポーツ・文化・芸術の部で古田真緒さんが表彰されました。なお、古田さんは島根県高校書道展奨励賞が評価されての表彰です。

令和5年度 生徒会役員紹介

役 職	氏 名
課程代表	石田 巧人
議 長	山本 桜子
書 記	亦賀 千博 古田 真緒
会 計	岩谷 咲 村上 華練
会計監査	増田 愛莉 藤本 圭一



旧生徒会執行部役員

1年間 ありがとうございます！

課程代表	西田 優真		
議 長	長嶺 藍	書 記	西村 菜々美
会 計	岩谷 咲	会 計 監 査	白根 萌々

冬季集団研修
ウィンタースポーツ

2月20日(月) 9:30~12:30



昨年度は中止になりましたが、サン・ビレッジ浜田で冬季集団研修（ウィンタースポーツ）を7名の参加生徒と4名の引率教職員で行いました。はじめは恐る恐るスケートリンクに降りて、手すりにつかまりながら滑走する状態でしたが、だんだん慣れて楽しい時間を過ごすことができました。また、スタッフの方から、サン・ビレッジ浜田のスケートリンクはカーリングの公式競技を行うことができる仕様にもなっていると教わり、興味深い発見をすることもできました。そして、カーリングのストーンを実際に滑らせる体験もさせてもらいました。研修の終わりごろ、みんなに疲れがみられるようになる中で、最後まではしゃいで滑っていたのは黒川先生でした！これも面白い発見でした！



冬季集団研修
ジオラマ制作講習

2月21日(火) 13:00~16:00



今年度の冬季集団研修はサン・ビレッジ浜田でのウィンタースポーツにジオラマ制作講習を加えた豪華2本立てでした。こちらのジオラマ制作講習は、3名の生徒が参加しました。数学担当の南條達也先生の指導の下、ジオラマキットを用いて、岩や砂、土を作り、動植物を配置していくジオラマ制作にチャレンジしました。粘土をこねる心地いい感触や異なる色の砂を何度も塗り重ねることで表現できるグラデーションの微妙な加減の感動は体験した人には味わえません！「もっと動植物を観察して作った模型と比較してみたい！」という参加生徒の感想も聞かれました。

今年度夏のジオラマの全国大会出品に続き、新年度の出品も予定しています。みなさん、ぜひ、新年度も一緒にジオラマを作ってみませんか？



会食マナー講習会

3月1日(水) 13:00~14:30

卒業生授賞式・同窓会入会式の後、ホテル松尾に移動して会食マナー講習会を実施しました。6名の生徒が参加しました。昨年はコロナ予防のため中止になってしまったので、1年ぶりの講習会でした。

はじめに、ホテル松尾の女将さんから和室での席順や箸の持ち方などの簡単なマナーを教えていただきました。食事は、真鯛や新若芽、タコなど地元の食材を中心とした会席料理でした。ひな祭りや卒業のお祝いの気持ちを込めた料理や盛り付けについてうかがいながらいただきました。生徒の感想には「知らないマナーがけっこうあったし、浜田の美味しい食材がたくさんあることを再認識できた」、「卒業予定生はぜひとも来るべき会です！」などがありました。

卒業後には、あらたまった席での会食をする機会があると思います。学校での経験を今後生かしてほしいと思います。



進路部だより



卒業生進路状況

R 4 年度 卒業生 4 1 名 (前期卒業生を含む)

R 5 . 3 . 3 現在



就職 (企業名等)	進学 (学校名等)
浜田港運株式会社【浜田市】	山口大学【山口県山口市】
金城開発株式会社【浜田市】	島根県立農林大学校【大田市】
ヤマト運輸株式会社【浜田市】	リハビリテーションカレッジ島根【浜田市】
株式会社コガワ計画 M ランド【益田市】	島根県立西部高等技術校【益田市】
株式会社グッドアイ眼鏡市場益田店【益田市】	服部栄養専門学校【東京都渋谷区】
レンゴー株式会社 東京工場【埼玉県川口市】	辻調理師専門学校【大阪府大阪市】
社会福祉法人 なにわの里【大阪府柏原市】	大阪観光専門学校【大阪府大阪市】
縁故就職【浜田市】	大阪ビューティアート専門学校【大阪府大阪市】
陸上自衛隊	倉敷ビューティカレッジ【岡山県倉敷市】
アルバイトの継続・新規	広島高等歯科衛生士専門学校【広島県広島市】
未定	未定

【高卒認定利用による進学】

・関西外国語大学短大部



進路実現のために

1. 卒業後の進路については、できるだけ早い段階から情報収集を始めましょう。

- 特に来年度卒業予定になる皆さんは、7月までには希望を固めておいてください。

2. 卒業後の進路も考慮し、受講講座は選びましょう。

- 進路関係の特別活動は随時案内するので、意識して参加してください。
- 進学説明会、就職説明会、社会人基礎力講座、企業・学校見学、先輩から学ぶ

3. 前期卒業は以下のことを理解した上で選択してください。

また、決定後の変更はできませんので、注意してください。

- 前期卒業が適している場合・・・就職先が既に決まっている、早く卒業したい、など
- 前期卒業が適さない場合・・・学校を通じて就職・進学したい気持ちがある、など

4. 大学受験において推薦を希望する場合は、校内外での活動が重視されます。

できるだけ主体的・協働的な取り組みをしてください。

- 生徒会活動
- 英語等検定や資格を取得
- ボランティア活動
- 生活体験発表などの各種コンクール



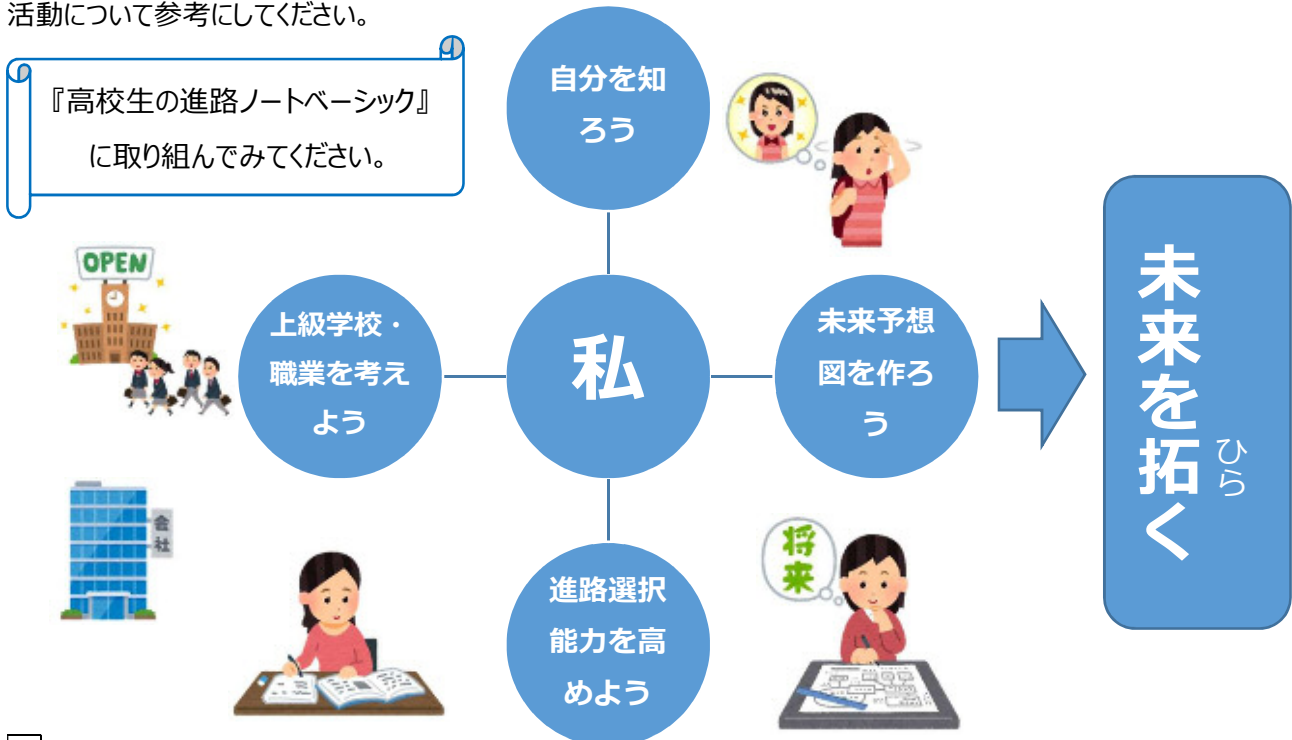
進路学習から、いろいろ発見しよう！



未来は、あなた次第で変わります。何をしたら良いのでしょうか？ 具体的に見ていきましょう。

1 進路学習～自分の個性を生かした将来を考える進路学習に取り組みましょう～

自分の「未来を拓く」ための高校生活での活動として次のことが考えられます。それを実現するための高校生活での活動について参考にしてください。



2 情報収集～いろいろな情報源があります。それぞれを有効に活用しよう。～

次は情報源を種類別にまとめたものです。必要なものについて、□にチェックし、参加しよう。

1. 自分を知らろう→適性検査 *無料

- 1 卒業予定生対象
- 2 在校生対象

2. 進学能力を高めよう→進学模試

- 1 進研記述 (全学年相当対象)
- 2 進研共通 T (3年生相当対象)
- 3 全統プレ (3年生相当対象)

3. 手続きを知ろう→説明会

- 1 進学説明会
- 2 就職説明会

4. 社会人としての基礎能力を高めよう

- 1 社会人基礎力講座
卒業予定生用 (第1回～第3回)
- 2 社会人基礎力講座
在校生用 (第4回、第5回)
- 3 着こなし講座

5. 企業・学校の研究をしよう

- 1 企業・学校見学
- 2 先輩から学ぶ
- 3 志望先のオープンキャンパス
- 4 応募前職場見学



保健だより 3月号



令和5年度を迎えます。新たな1年に向かって、準備を始めましょう。
何をするにも心身共に健康であることが大切です。生活習慣を整えて、元気に春を迎えましょう。

新型コロナウイルス対策推進中 COVID 19



※「もらわずうつさず」が大切です。感染予防のルールを守って行動しましょう！

令和5年度 健康診断

自分の健康状況を把握しておくことはとても大切なことです。学校で受ける機会を有効に活用してください。
次年度も **2回に分けて実施**します。**6/6、7/4の2日間ともに全員参加**してください。**2回とも受けることで、その年度の健康診断完了となります。**
下記の日程で受けられるよう予定に入れておきましょう。

1回目：身体測定

日時：令和5年6月6日（火）3限～

内容：身長、体重、視力、聴力、尿、診察
※胸部X線・心電図（該当者のみ）



2回目：校医検診

日時：令和5年7月4日（火）午後

内容：眼科、歯科、耳鼻科

- ・健診費用は**無料**です。
- ・**特別活動**にカウントされます。
- ・学校で受けない場合は、他の機関で受けることになります。

※詳しい時間等は次号で連絡します。



【令和5年度 通信制奨学金の案内】

在学中の希望者対象

◎日本教育公務員弘済会高等学校等給付奨学生募集

- 1 募集人数 浜田高校通信制課程から1名
- 2 給付額 15万円（返済義務なし） ※1年間
- 3 出願書類 ①給付奨学生申請書
②給付奨学生推薦書（学校で作成）
③給付奨学生申請者調査書
④同一生計家族の所得証明
- 4 校内申込締切 **5月7日（日）**

※口頭でよいので、奨学金担当または担任まで申し出てください。

※申請の際、市町村の発行する所得証明申請書が必要になります。

※選考会議をして推薦者を決定します。

卒業予定生で進学希望者対象

◎日本学生支援機構大学等予約奨学生募集

（独立行政法人・日本学生支援機構による進学者向け奨学金制度です）

- 1 奨学金の種類
 - 1) 給付奨学金 返還不要な奨学金
 - 2) 貸与奨学金 借りておいて後に返還する奨学金
→ (1) 第一種（利息無し） (2) 第二種（利息有り）
- 2 申込要件
 - 1) 学力基準が規定を満たしていること
 - 2) 収入および資産基準が規定を満たしていること
- 3 申込手続
 - 1) 学校または自宅でインターネットによる申込をし、
 - 2) 1週間以内にマイナンバー書類を学生支援機構に郵送後、
 - 3) 所定の申込書類を記入して学校に提出します。
- 4 校内申込締切 **5月14日（日）**

※令和5年度配布用リーフレットは3月末に到着予定です。

※口頭でよいので、奨学金担当または担任まで申し出てください。

※第1回インターネット申込は、5月末までに行います。

（例年、第2回以降の募集はありますが、選考が厳しくなる可能性があります）



新年度が始まります



4月は学校行事も盛りだくさんです。
学校からの案内をきちんとチェックして、参加してください。

日程	行事	備考
4月9日(日)	在校生受講手続き (浜田高校定通校舎) 全員必ず出席	ルームによって登校時刻が違います。案内をきちんと確認して自分のルームの時刻に登校してください。 ※教科書・学習書給与申請の書類提出 該当者は申請の書類を提出しないと教科書代の支払いが必要になります。 ※新年度諸会費の納入 諸会費を納入しないと新年度の活動ができません。
4月12日(水)	新入生1日入学	令和5年度入学生のみでの登校です。 在校生は登校する必要はありません。
4月16日(日)	前期入学式	
4月23日(日)	前期全校集会 (浜田高校定通校舎) 全員必ず出席	新年度最初の大切な会です。 教科書、学習書、レポートは全校集会後のルーム別指導時に渡します。前期時間割を配布します。
4月25日(火)	プレスケーリング(浜田)	令和5年度入学生向けに「レポートの提出の仕方」、「レポートへの取り組み方法」などを説明する会です。 在校生も参加してレポートに取り組んだり、学習計画を立てたりすることができます。
4月26日(水)	プレスケーリング(大田) (あすてらす) プレスケーリング(益田) (益田市民学習センター)	
5月7日(日)	本校スクーリング1回目 協力校スクーリング(益田) 1回目	新年度最初の本校・協力校(益田)スクーリングです。 ※大田協力校の1回目は5/14(日)です。
5月9日(火)	火曜スクーリング1回目	新年度最初の火曜スクーリングです。(本校のみ)

※詳細は学校からの案内を確認してください。

※4月9日(日)の受講手続き時に、該当者は「教科書・学習書給与申請」の書類を提出してください。(提出がない場合、教科書代の支払いが必要になります。) **在職証明書などの証明書類が必要**になりますので早めに準備をしておいてください。

